

県外派遣報告書

審判員名	小柳 幸子	所属	ミニ連	
大会名	平成25年度 第68回 国民体育大会 関東ブロック大会			
期間	平成25年8月24日(土)・25日(日)			
会場	横浜文化体育館			
スケジュール				
期 日	内 容	場 所		
8月23日	審判会議	平沼記念レストハウス		
8月24日	1回戦	横浜文化体育館		
	レクチャー	平沼記念レストハウス		
8月25日	準決勝・決勝	横浜文化体育館		
会議 講義 内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・開催県 神奈川県審判長 清水 幹治氏のご挨拶より、本大会が始まりました。 ・関東バスケットボール協会 審判長 安西郷史氏 本大会は初めて担当する方もいるが、他の関東大会ともまた違い、東京国体に向けての厳しい予選の大会となる。レフリーのせいではなく、プレイで十分に力を出し切って終わって貰える笛が吹けるよう、頑張ってください。 ・関東バスケットボール協会 副審判長 久保 裕紀氏 本大会は東京、関東のA級講習会を兼ねている。日本協会からお越し頂いている講師の方々のレクチャーや、積極的に色々話を聞いて、意義のある講習会にしてください。 ・日本バスケットボール協会 講師 湯浅 暢宏氏 この講習会に参加することでは上手くならない。普段の活動が大事である。そのきっかけにして欲しい。 ・日本バスケットボール協会 講師 松本 隆志氏 自身の経験上、悔しい思いをする事が、成長に繋がっている。たくさんの経験を積んで欲しい。 ・レフリーミーティング 指名 針生 淳男氏 ・ 指名 東 祐二氏 ※別紙参照 				
担当試合	期 日	2013年8月24日(土)	男子 <u>女子</u>	少年女子1回戦
	対戦カード	群馬県	VS	千葉県
	相手審判	稲葉 威 氏(茨城)		
ミーティング内容		主任 小坂井 郁子 氏(神奈川)		
<ul style="list-style-type: none"> ・リードでの動き:居続けなければいけない時に移動してしまうケース。プレイの予測をし、位置取りを考える。 ・トラヴェリングの基準を合わせる事や、アウトオブバウンズの確認も、相手審判との協力不足。 ・プレイヤーが変わった時にも、質が悪い手の使い方は、簡単に取り上げる準備をして受け入れる。 ・体格・技術の差があっても、シュートに関する判定は、もっとシビアに取り上げる必要がある。 ・強さと、女性なりの細やかさを出す。アウトオブバウンズの判定でも、ベンチのアピールに対しての、正しい判定は毅然と対応する。 ・プレイの重要度の判断力をつける。 				

実技			
担当試合	期 日	2013年8月25日(日)	男子 女子 少年女子 準決勝
	対戦カード	茨城県 VS 栃木県	R U1 U2
	相手審判	R:安富 朗 氏(神奈川) / U1:川路 宗勅 氏(神奈川)	
ミーティング内容		主任 久保 裕紀 氏(東京)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの入り方は良かったが、判定し続ける事に欠ける。判定から逃げたり任せたりせずに、積極的に判定をしなければ、ゲームを任せる事ができない。 ・3人でのメリットが活かされていない。自分のエリアでの取り上げるべきものを、漏らさないようにする。 ・考えすぎず、思ったものを笛で表わせるよう修正する。メカニックよりも、判定基準をもっと確実なものにする。 			
全体の感想			
<p>今回、A級講習会を兼ねた本大会に、初めて派遣させて頂きました。今までに無い緊張感の中、判定し続けられなかった事、確認不足が相手審判との協力不足となるなど、できていたはずの事ができないという悔しさが残ります。普段からの取り組みが大切であることを、再認識致しました。試合後の講評では、細かなところまで沢山のご指導を頂く事ができました。この経験を生かし、日頃の審判活動にも甘んじる事無く、1つ1つを大切に今まで以上に真剣に取り組んで行きたいと思います。貴重な講習会の機会を頂き、ありがとうございました。</p> <p>最後になりますが、本大会に際し、神奈川県の皆様には、細部に渡り、沢山のお気遣いを頂き、心より感謝申し上げます。この場をお借りして、御礼申し上げます。ありがとうございました。</p>			